



だてな健幸ウォーク in ほばら

11月3日(金)の文化の日、高子^{たかこ}二十境^{にじゅうきょう}の歴史文化に触れながら楽しくウォーキングするイベント「だてな健幸ウォーク in ほばら」を開催しました。

阿武隈急行「高子駅」をスタートし、1・5^{キロ}から5^{キロ}までの4つのコースを138人が歩き、伊達なふるさと大使の長沢裕^{ながさわゆう}さんと一緒に伊達の風景を楽しみました。特に高子二十境の一つ「丹露盤^{たんろばん}」では、絶景に感動する声が続出。詩を詠^よんで歴史に浸ったり、参加者同士で会話を楽しんだり、それぞれに合った楽しみ方で全員が完歩しました。参加者からは「アップダウンのあるコースでしたが、リンゴや柿畑の側を歩けて楽しかったです。さすが果物の里!」と話が聞けました。



秋の景色を満喫



歴史を楽しむ



元気に準備体操

豪華景品も
ゲット♪



高子二十境とは？
保原町上保原地区には、「古樵^{こしょう}丘^{きゅう}」など難しい漢字の字名が20ほど残されています。これらは一般に高子二十境と呼ばれ、四季折々、さまざまな表情を見せてくれます。



▲由来などはこちら
(市ホームページ)

